

第6学年 総合的な学習の時間（人権）学習指導案

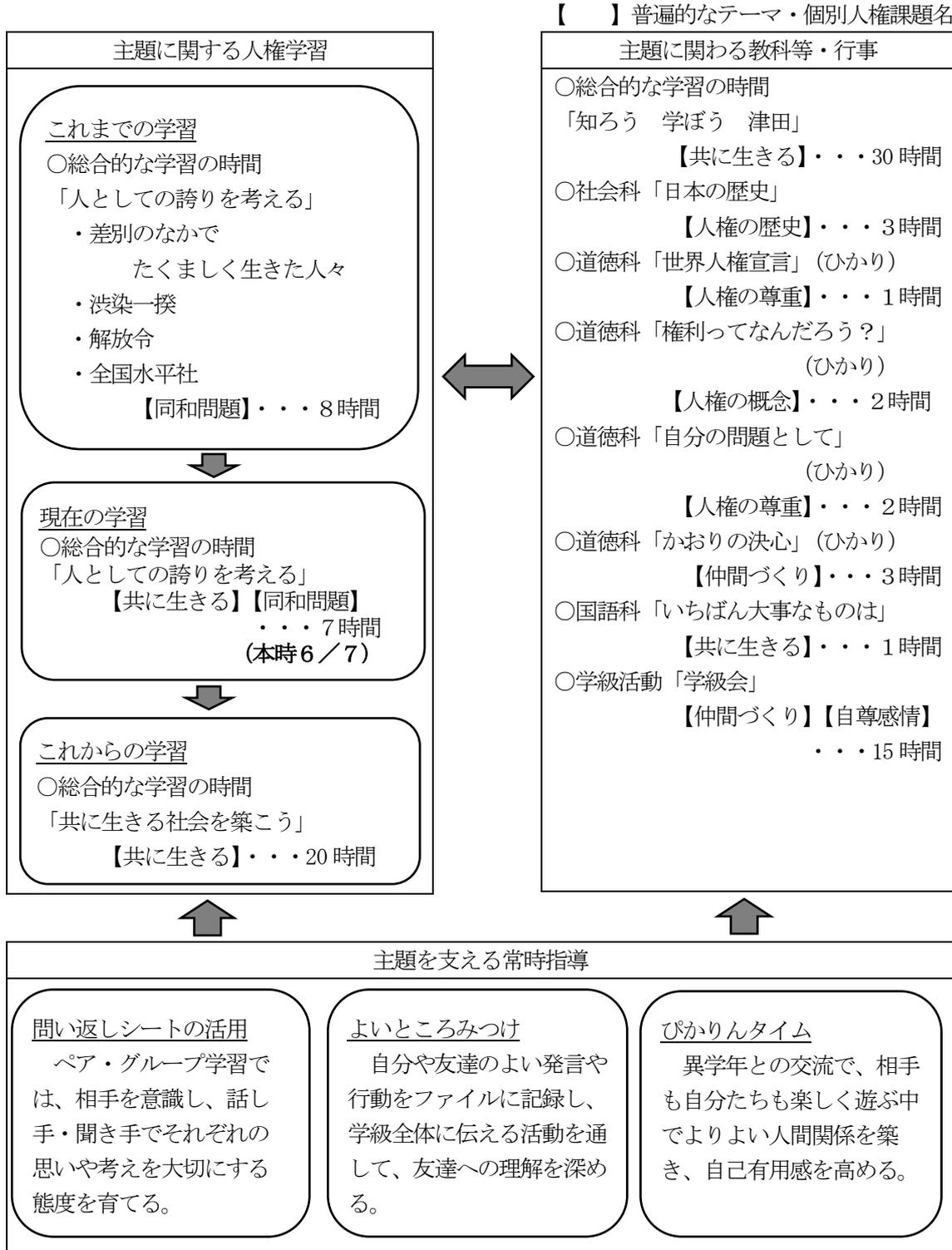
1 主題 人としての誇りを考える

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

不合理な部落差別の実態や差別をなくそうと行動している人々の思いについて交流を通して深く学び、差別を解消するために自分事として考え、差別を許さない態度を育てる。

4 指導計画



5 本時について

(1) 本時の目標

部落差別に対し、自分事としてとらえ、差別を許さず解消していこうとする意欲を高める。

(2) 個別人権課題名 同和問題

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点
1 差別について学んだことを振り返り、本時のめあてを確認する。	○ 気持ちメーターをもとにして、これまでの学習の流れと、本時の流れを共通理解する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 自分はどうか考え、行動するだろう。 </div>	
2 班でフューチャーシナリオを読み、気付いたことを書く。	○ 次のことに注意してワークシートに書かせる。 ①③ ・参考になったもの ・共感できるもの ・考えが変わるきっかけになったもの
3 自分と友達の見解を比較して、同じところや違うところがあることを知り、差別についての考えを深める。	○ 児童の見解からさらに問い直し、自分の見解と正対できるようにする。 ②
4 この授業で自分が変わったことや感じたことからどのように行動するかについてまとめる。	○ 自分の生活について真剣に向き合い、自分事として考えられるように助言する。 ②

(4) 評価

- ・ 根強く残る部落差別について、知ることができたか。 【知識的側面】 ①
- ・ 自分自身の心と向き合い、差別を許さず、解消していこうとする意欲を高めることができたか。 【価値的・態度的側面】 ②
- ・ 友達のフューチャーシナリオからの気づきを、書くことができたか。 【技能的側面】 ③